

Tokyo Tobihino Rotary Club



会長 結城 祐純



幹事 谷 和彦

会長テーマ クラブを再加速する



2023-24 Weekly Report vol.36-19

世界に希望を生み出そう

2023年11月21日(火) 第1654回 ロータリー研究会 於:神戸ポートピアホテル

研究会に先立ち11月19日ロータリー財団セミナーが開催された。

11月20日は、ロータリー研究会付随プログラムで第2回の地域リーダー会議（朝食会議）、メジャードナー顕彰晩餐会、AK式典 ガバナー会議 GETS GNTS ロータリー日本財団理事会 RI理事諮問委員会 各セッション事前打ち合わせが行われた。

11月21日から、第1日目のロータリー研究会、開会式、点鐘、招集者挨拶、来賓紹介、RI理事会現況報告があり、基調講演ⅠでRI会長講演、基調講演ⅡでTRF管理委員長代理の講演、講話はロータリー日本財団理事長千玄室様（後記）。その後各種報告、第1セッション「Grow Rotary の実現に向けて」で、テーマ①DEI・新クラブ・RAC・衛星クラブ・DEI等の紹介、テーマⅡで地区の研修システムについてバストガバナーにお聞きした。第2セッションでは「ポリオを知り行動しよう」のテーマで、「感染症との闘い～ポリオからコロナへ」のテーマで尾身茂先生の講演がありました。講演後、世界ポリオデー事例発表、世界ポリオデーフォトコンテスト・表彰式がありました。2日目はリラグゼーション体操（ラジオ体操）で体をほぐし、「メンタルヘルスの基礎」のテーマで慈恵会病院理事長の講演を聞き、続けて各種報告Ⅱ、シンガポール国際大会の案内、各種報告Ⅲで「ロータリーカードの案内」、第3セッションで「大きなインパクトをもたらす（パキスタン・災害支援）」の報告、奉仕の体験の相手先・内容紹介、奉仕体験の相手先と内容紹介、奉仕プラクティス「奉仕の体験をしよう」と話し合い、ポリオ根絶コーディネーター第1地

域高柳会員が総括された。第4セッションでは「create hope を語る公共イメージの向上を」について意見交換。事例発表が行われた。講評はRI会長、TRF管理委員長代理の三木会員からいただいた。

次回開会の案内はRI理事エレクト水野功会員が、「次回も準備万端で皆さまをお迎えしたいと思います。ホストクラブは東京飛火野RCです。」と挨拶された。

◆◆◆講話 「茶道で平和に 100歳の使命感」

千宗室 ◆◆◆

毎朝4時に起き海軍仕込みの体操をします。冷水摩擦も欠かせません。学徒動員で海軍航空隊に入隊、特攻隊員を何人も見送りました。私は茶道の家の息子ですから、心を和ませ、清めて、鎮めてもらおうと、簡易道具でお茶を点ててふるまいました。かろうじて終戦を迎え、無事復員。若くして逝った戦友たちの無念を考えると忸怩たる思いに日々さいなまされた、転機は戦後もなくです。進駐軍が裏千家に押し掛けてきた。家元だった父は、お茶をふるまったく。中には横柄な兵隊もいて、父はそういう手合いを英語で「ここは礼儀正しさをわきまえるべき部屋。お引き取りを」とたしなめたのです。自分には目の覚めるような経験でした。「戦勝国のおごり、敗戦国の屈辱をならすのが平和の第一歩。それには異文化の尊重が欠かせません。茶道はそのきっかけづくりを提供できるのでは。茶道の家に生まれながら、世界に通用しうる普遍的価値を、それまで意識していました」「いったん茶室に入れば、互いに敬い、譲り合うのが茶道の精神です。一椀の茶を前にすると、そこには人種も宗教も社会的格差もありません。

平和づくりに、茶道が果たせる役割はおおきいいはず」「敗戦の痛手から、伝統的価値観を否定する論調が、当時は幅を利かせていた。ところが日本の伝統文化である茶道に、思いがけず世界平和に貢献する可能性がある、この思いを伝えようと、七十数年間 60ヶ国以上を訪ねてきました。海外の人に私は説明します。『丸い茶碗は地球です。この中にある縁のお茶は自然を象徴しています。』」こういうと皆さん、ぶつかろうとする衝動が和らぎ、半歩下がって我慢できるようになる」「茶道を通して平和づくりの貢献するのも、亡くなった戦友たちへの

供養になると思うのです。」とはいえ、世界から紛争はなくなりそうもありません。「だからこそ、半歩下がって譲り合う場が大切です。茶道が貢献できる余地はなおさら大きいと思うのです。」

出席報告	総数	出席	MU前	MU後	欠席	出席率
第1654回	23	23	0	-	0	100
第1652回	23	19	0	0	4	82.6

ニコニコBOX 本日 0円 累計 336,721円
本年度目標額1,200,000円 達成率28.0%

※今週のメーカアップ なし

※先々週の後メーカアップ なし

